

近況報告

第3期 OG 酒巻 恵子

(旧姓：小林)

皆様、ご無沙汰しております。第3期の酒巻です。久しぶりの寄稿なので、一体何から書けばいいのやらと、パソコンを前に早数十分…。このままだと白紙で終わってしまいそうなので、自分の近況報告について書かせていただこうと思います。つたない文章ですが、お許しくさいませ。

まず、プライベート面ですが、子供が生まれ、2児の母となりました。なんと二人とも男の子。将来、自分の体力がついていくか、騒ぎ過ぎて家が壊されないか心配ですが、今はもうかわいくてかわいくて毎日ベタベタ、嫌がられてもお構いなし、超親バカっぷりを発揮しています。現在、長男は4歳、次男は2歳になり、人とも少しずつ手が離れてきて寂しい限りですが、「お母さんの隣でいつまで一緒に寝る？」の問いに、「いつまでも一緒！」の答えを信じ（本当にそうだと困りますが）、母親業に邁進しています。

よく、子供が産まれると色々制限されると言われますが、確かにその通り。仕事で残れないのは当たり前前、飲み会の数は激減どころか年に数えるほど、休日の外出や旅行も制限され、日々の保育園送迎に家事にと、結婚後も自由人だった私としては、あまりのギャップに本当にやっつけていけるのか心配でした。しかし、いざやってみると、周りの助けがあつてこそですが、さっさと仕事を終えて帰るようになり、夫婦2人では行かないようなところへ遊びに出かけたり、ママ友たちとの交流が広がったりと、新たに得られたことも結構多いです。特に、随分長いことズボラ生活だった私が、毎日料理・洗濯（・掃除）をする、早寝早起きをするという人間の基本的な部分を取り戻せたのは子供たちのおかげです。と言いながら、余裕がないときは、鬼のように家族を怒りまくっているんで、自分が必要とされる生活は残り数年しかないということを肝に銘じ、眉間の皺を少しずつ減らしていこうと思います。



ご長男（4歳）とご次男（2歳）

次に、仕事面についてです。これまでは大きな異動もなく、首都圏での営業を6年間続けていましたが、出産と夫の転勤の関係で、現在は京都でスタッフ系の仕事をしています。自分のキャリアについては、2度の産休・育休に加え、京都に来てからは部署異動も何度かあったりして、一体自分が何を目指してやっているのか、そもそも自分は社会人何年目に該当するのかすら分からなくなっており、また、仕事に求めることも当初からは変わってきているため、なんだか暗雲立ち込めている感じです。これから就職、あるいは就職活動を始めるゼミ生の皆様を前に、他のOB・OGの方々

が第一線でご活躍されている中、なんとも気の抜ける話となってしまう申し訳ありませんが、こんな OG もいるのだなと軽く受け流していただければ幸いです。

昨年の4月に2度目の育休から復帰し、それと同時に新設部署のメンバーとなったのですが、これまで担当していた業務とは関係無、周囲とのスキルの差は歴然、新設部署なので業務手順が確立していない上に業務分担は曖昧で、やろうと思えばどこまででも取りにいける、といった状態でした。この年になってゼロからのスタートは精神的に負担でしたが、短時間勤務に甘え、初めての業務だからという理由に甘え、この1年間は守りの姿勢が続いてしまって、たいして成長がなかったように思います。何をすることも自分で判断できず、常に確認しながら業務を進めるというのは、入社以来だったかもしれません。それでも私は中堅社員な訳で、来年度からは短時間勤務も終わるし、それなりの結果を出さなければという焦りもあって、悶々とした1年となりました。なんだか暗〜い話になりましたが、なにくそ根性が自分のいいところ。まだ専業主婦になる予定もなく、今さら営業に戻るつもりもないので、来年度は結果にこだわって、着実に前向きに仕事をしたいなと思っています。母になってからはどうも妥協続きで、守りの姿勢を会社に見破られたのか、今回の異動は、しっかりやり抜けということなのかもしれません。

話は変わり、こんな私でもゼミで学んでいる頃や会社に入社した頃は、当たり前話ではありますが、やる気にみなぎり、ガツガツ燃えていたように記憶しています。私はこうしたい、負けたくない、置いていかれたくない、で必死。今や一転、のほほんとよくもまあここまで変わったもので、できるものなら仕事を休んで子供たちとのんびり遊んでいたいなと思うほど。陸上に例えると、50メートル走を何本も走



著者、ご子息とともに

り続けるのはマイペースな私には無理だったので、年相応に市民ランナー程度に休憩しながら頑張りたいと思う今日この頃です。

長々と書きましたが、近況を一言にまとめると、普通によくあるサラリーマン家庭といったところでしょうか。結婚し、子供ができ、転勤し、家を買って、教育やローン、親のこと、仕事のことや悩み、何だかめっちゃくちゃ所帯染みでいて、学生の頃はそんな生活つまらない、そんな生活が自分にも本当にやってくるのかと思っていたような気がします。確かに特筆すべき事柄はないですが、なかなかこういう生活もいいものですよ。「幸せも中くらいなりサラリーマン」生活、これからも満喫したいと思います。